

学校運営協議会 議事録

校 名	府立 港 高等学校
校長名	浦 山 聖

開催日時	令和6年5月10日（ 金 ） 15：30 ～ 17：05
開催場所	大阪府立 港 高等学校 1階会議室
委 員	千葉 真也 委員 佐藤 美智 委員 吉田 景一 委員 中田 昌彦 委員 久保田 徹 委員
学 校	校長 浦山 聖 教頭 宮城 良明 事務長 麻野 佳之 首席 芦田 健 教務主任 加藤 学 生徒指導主事 早川 宏行 自治会顧問 宮地 耕介 保健主事 國見 滯 進路指導主事 今木 一充 3学年主任 青野 和弘 2学年主任 稲田 和明 1学年主任 吉田 正勝 教育相談委員長 鳥居 友貴
傍聴者	尾崎 陽斗、中村
協議資料	・ スクールポリシー について ・ 令和5年度学校評価 について ・ 令和6年度学校経営計画 について ・ 学年、分掌マネジメント表 について
備 考	

議題等（次第順）

大阪府立港高等学校 令和6年度 第1回学校運営協議会

次 第

1 開会 (司会 教頭 宮城 良明)

2 校長挨拶 (校長 浦山 聖)

3 会長・副会長の確認

会長は 千葉 真也 様 (推薦により選出)

4 報告

(1) 各分掌・学年の進捗状況について (学年、分掌マネジメント表より)

- ① 教務部
- ② 生徒部 生徒指導
- ③ 生徒部 自治会
- ④ 生徒部 保健
- ⑤ 進路指導部
- ⑥ 総務部
- ⑦ 3学年
- ⑧ 2学年
- ⑨ 1学年
- ⑩ 教育相談委員会

(2) スクールポリシーについて

(3) R5 学校評価・R6 学校経営計画について

5 協議

- ・ 報告事項について (どんな観点からでも)

6 諸 連 絡

今後の協議会予定

令和6年度第2回 令和6年 10月 11日 (金) 15:30～

令和6年度第3回 令和7年 2月 14日 (金) 15:30～

7 校長「閉会」の挨拶 (校長 浦山 聖)

報告

（１）各分掌・学年の進捗状況について（学年、分掌マネジメント表より）

① 教務部

- ・情報システム室とは連携が取れて、うまく ICT 活用が進んでいる。
- ・今年度で、全学年が観点別評価になります。
- ・今後も建設的な学校運営を進めてまいりたいと思います。

② 生徒部 生徒指導

- ・重点課題は昨年度と大きくは変えずに、自主的な行動を促していきたい。
- ・身だしなみ指導は引き続き行い、遅刻・欠席数が減っていくようにしたい。
- ・いろんな場面において、教員側から積極的に声をかけていきます。

③ 生徒部 自治会

- ・今年の自治会選挙、会長が決選投票となり、緊張感があり選挙らしい姿になった。
- ・1年生の部活動加入率は46%であるため、声掛けをして目標の80%に上がるよう声掛けをしていきます。

④ 生徒部 保健

- ・6月に眼科検診。欠席者対応も行います。
- ・4月に防災避難訓練を行いました。12月には、教科担当が避難誘導を行う形で実施する予定です。

⑤ 進路指導部

- ・生徒の進路実現を全力でサポートしていきたい。
- ・スタディサプリの導入など、校長先生と打ち合わせを行いながら進めていきます。

⑥ 総務部

- ・書籍163冊を購入、読書活動の活性化に向けて SNS 発信を行っています。
- ・奨学金については必要な家庭に利用を促しており、大阪府育英会は昨年の2倍となっています。

⑦ 3学年

- ・就職希望の生徒については、全員行き先が決まるように取り組んでいます。
- ・社会に出てから通用する人間として教育していきたい。

⑧ 2学年

- ・各種検定の合格率を上げて自信をつけさせていきたい。
- ・3年生に向けた準備を、いろんな観点で進めていきたい。

⑨ 1 学年

- ・英検の合格率75%をめざし、チャレンジ講習の充実を図りたい。
- ・生徒が安心して登校できる環境を作り、皆が学校に行くことを楽しいと思わせたい。

⑩ 人権教育推進委員会

- ・情報セキュリティの見直しから、人間関係のリテラシーを深めていきたい。
- ・教職員は昨年度の延長線上で、当事者の声を聴けるような研修を考えている。

⑪ 教育相談委員会

- ・生徒たちの現状を、学年としてあるいは学校として受け止めていくようにしたい。
- ・毎週開催する教育相談委員会を充実させる。
- ・相談に来ていた生徒が、「もう大丈夫」と言ってもらえるような環境を整える。

【質疑応答】

○印：学校運営協議委員のご発言、ご意見 ●印：学校教員の発言、意見

OLGBTQ に関連して、男子生徒がスカートを履きたいと言ってきた場合の対応はどのようなものになるでしょうか。

●生徒としっかり話をするのが基本。現状では男子生徒がスカートを履くことは、その生徒に対してリスクが高すぎるように思う。

●教員が配慮することはもちろんだが、自分と違う生徒がいても普通のことだと伝えることが大切。生徒自身が「それはその通りだね」と自然と受け止めていける状態を作りたい。

(2) スクールポリシーについて（資料に基づいて説明）

校長 グラデュエーションポリシーについては、中学校・中学生から見てだいぶわかりやすくなったと思っています。

(3) R5 学校評価・R6 学校経営計画について

校長 先生方が頑張ってくれていることで、全体的に数字が上がっている。

唯一悪化しているのが、残業時間。部活動の活性化という課題もあり難しい。

顧問の先生方と十分連携を取りながら、改善に向けた道を見つけていきたい。

これを踏まえて R6 の学校経営計画ですが、授業をしっかりと改善し生徒たちの興味・関心を高めていけるように、授業力の向上を図りたい。また外部教材を利用して、生徒たちが主体的に学ぶように移行させ、結果的に教員の仕事の効率化に結び付け、時間外の残業時間の減少をめざしたい。

○英語検定に力を入れておられるが、2級や準2級に全く手の届かないような生徒はいらっしゃいませんか？そういった生徒に対してどのような対応を取られていますか？

●学力に差は確かにあります。そういう場合には、まずは3級を目標として学習させていきます。やはり成功体験ややったら身につく、そういうことを体感させることが重要です。もちろん希望者には、放課後や長期休業中の講習を実施し、目標達成の後押しをしています。

●今は、目先に自分たちのためになるようなことを伝えている。その先に継続してやり続けて良かったなと思ってもらえればよいと考えます。英語サプリの導入も、最終的には生徒たちが主体的な学びを確立していくための一つの手段。1年生ならば大学進学は先の話になりますが、準2級や2級を持っていれば、大学に行きやすくなるならそうしようかなって、とっかかりになればよいと思います。

次回の会議日程

日 時	令和6年10月11日（金） 15:30からの予定
会 場	大阪府立港高等学校 会議室